

当院におけるトランスサイレチンアミロイド心筋症（ATTR-CM）の診療実態の診療録に基づく後ろ向き解析

◆ 研究の対象となる方

2015年1月1日から2024年12月31日の間に、トランスサイレチンアミロイド心筋症（ATTR-CM）と診断され、当院にて入院または外来にて治療を受けられた方

◆ 目的・方法

全身性アミロイドーシス（指定難病28）のひとつであるATTR-CMは比較的稀な疾患とされ、2015年の班研究での国内推定患者数は、変異型で840人、野生型で320人でした。しかし、その後、ピロリン酸シンチによるスクリーニングが普及し、2019年に治療薬であるタファミジスが承認されたことで、世界的にATTR-CMの診断症例数が増加しています。

本邦では、2019年から2024年までの5年間で3000人以上の患者様がATTR-CMと診断されタファミジスの投与が開始されました。その多くがトランスサイレチン遺伝子に変異のない野生型で、既に2015年の国内推定患者数320人を遥かに超えています。ATTR-CMの診断率には地域間で数倍の格差があり、まだまだ多くの患者様がATTR-CMと診断されずに適切な治療を受ける機会を逃しているものと考えられます。

当院では、2015年にピロリン酸シンチを契機にATTR-CMと診断した最初の症例を経験し、その後、2024年までの10年間で100名以上のATTR-CM患者様を診療してきました。国内のタファミジス導入施設の多くは大学病院ですが、市中の一般病院でこれほど多くのATTR-CM症例を経験している医療機関は当院以外にありません。そこで、当院における診療実態をまとめて多くの方々と共有することで、市中におけるATTR-CM患者の実態が明らかとなり、実臨床におけるタファミジスの適正使用を推進する上で有用ではないかと考えました。

具体的には、カルテの記録をもとに、これまで当院で診療してきたATTR-CM患者様のデータをまとめて、学会や論文などで報告させていただければと考えています。

◆ 研究に使用する情報

診療録の記録から、年齢、性別などの患者情報、心電図、心エコーなどの検査所見、NT-proBNP、eGFR、トロポニンTなどの血液検査所見、処方内容、生存情報などを後ろ向きに取得し、統計学的手法を用いて解析します。

この研究のために新たな検査や調査をお願いすることはありません。

◆ 個人情報の取り扱い

本研究の成果は学会等での公表を予定しておりますが、個人が特定されないよう加工した情報を用いますので、プライバシーは守られます。また、本研究以外の目的で使用することはありません。

◆ 研究への協力について

診療情報等が本研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象といたしません。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ます。

本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。

問い合わせ先	福岡県済生会福岡総合病院 循環器内科 久保田徹 住所：福岡市中央区天神 1-3-46 電話：092-771-8151(代表)
--------	---

以上